

令和4年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 令和5年6月23日

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課
---	------------	---	------

施設名・所在地	函館市縄文文化交流センター 函館市臼尻町551番地1		
設置条例	函館市縄文文化交流センター条例		
指定管理者名	一般財団法人 道南歴史文化振興財団	指定期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
指定管理者の特別な要件	1 考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員を3名以上確保し、常時1名以上配置。うち、1名以上は文化庁が主催する指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー修了者または同等の知識等を有すると教育委員会が認める者 2 学芸業務を統括する管理責任者は「考古学・保存科学および博物館環境に習熟した学芸員」から選任すること	選定区分	公募 非公募
設置目的	縄文文化を通じた交流の場の創出および縄文文化の最新の研究成果を通して歴史的意義・重要性を国内外へ情報発信することにより、観光客や研究者等の集客を促し、交流人口の拡大を図り、もって地域振興に寄与することを目的とする。		
設置年月	平成23年10月	建設費	633,867千円
構造規模等	敷地 総面積：7,140.93㎡ 建物 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階 延床面積：1,733.43㎡		
開館時間 休館日等	開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後5時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後4時30分まで 休館日 ・月曜日(休日の場合は最も近い平日)・12月29日～1月3日・毎月最終金曜日		
料金体系	<input type="checkbox"/> 利用料金制の採用の有無 無 一般 個人：300円 20人以上の団体：1人につき240円 学生・生徒・児童 個人：150円 20人以上の団体：1人につき120円		
1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況 (1) 管理業務 ア 受付、案内および監視業務 イ 体験講座、体験学習 縄文体験講座 「縄文染め」「縄文釣り体験」「縄文土器づくり体験」「遺跡調査報告会」「縄文世界遺産クイズラリー」 ほか 縄文ペンダントづくり、組紐アクセサリーづくり ※ 新型コロナウイルス感染症対策のため、一部メニューの人数制限や実施を見合わせ ウ 縄文文化特別研究 研究テーマ 「函館市南茅部地域周辺における縄文時代の食変遷2」 エ 展示・環境管理業務 オ 企画展 「『カックウ』と『まっくう』」 開催 カ レファレンス業務 キ 北海道博物館協会に関する業務、道の駅の管理に関する業務 ク 資料の保管、借受け、利用許可、指定文化財(国・道および市)の取扱いに関する業務 ケ 施設の維持管理に関する業務(清掃、警備、設備保守点検、塵芥処理、除雪、修繕等) コ その他センターの維持管理に関し必要と認められる業務(物品等の調達、光熱水費等の支払等) サ 教育委員会または指定管理者が必要と認める業務(公金収納、危機管理、広報等) シ 新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインに基づく取組 (2) 自主事業 ア 縄文文化の普及・啓発 イ 他団体と連携したイベント実施 史跡大船遺跡清掃活動、シーニックの日花苗植栽活動、シーニックdeナイト2022 ウ ミュージアムグッズ販売 エ 道の駅売店運営 オ 他団体との商品開発			
2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績 ア 市政はこだて、ホームページ、SNS等による広報活動 イ どくろうの日(10月9日)イベントの開催 「中空土偶と触れあってみよう！」 ウ 「はこだて縄文まつり in 垣ノ島」の開催			

- 3 市民ニーズの把握の実施状況
 ア アンケートボックスの設置（通年）
 イ 窓口対応（通年）

4 施設の利用状況

- ・令和4年度の月別入館者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	2,593	5,352	4,323	4,789	5,311	5,138	4,385	2,302	681	423	235	1,404	36,936

- ・年度別利用件数

(単位：人、円)	← 前々期指定期間 →		← 前期指定期間 →			当期指定期間
年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用件数	19,795	18,752	20,402	18,307	29,838	36,936
使用料収入	4,516,380	4,225,350	4,702,950	3,499,350	6,386,760	8,324,550

※平成28年度から指定管理者制度導入

5 指定管理者の収支状況

(単位:円)		← 前々期指定期間 →		← 前期指定期間 →			当期指定期間
区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入	委託料	46,351,636	46,351,636	46,773,000	46,773,000	51,177,000	50,541,000
	利用料金						
	事業収入	740,800	754,800	729,200	335,100	374,250	365,200
	雑入	0	0	0	0	0	0
	計	47,092,436	47,106,436	47,502,200	47,108,100	47,108,100	50,906,200
支出	人件費	21,157,739	20,307,806	21,494,998	21,889,257	24,850,574	24,133,021
	消耗品費	2,314,190	1,738,085	1,894,361	2,187,668	1,865,442	1,865,249
	印刷製本費	279,412	510,620	51,267	419,939	862,774	333,397
	修繕費	216,000	458,400	417,440	722,550	457,500	318,700
	水道光熱費	4,841,084	4,786,616	4,882,027	4,757,305	4,974,574	5,923,995
	通信費	570,763	429,736	422,688	422,353	441,786	435,054
	業務委託費	9,012,978	8,939,873	9,102,263	9,386,124	9,314,253	9,764,105
	リース料	956,162	1,057,085	1,025,493	1,015,843	2,063,077	2,115,212
	租税公課	3,507,279	3,489,367	3,918,931	4,282,552	4,686,479	4,627,836
	原材料費	0	0	0	0	0	0
	その他の支出	4,492,655	1,049,672	1,119,074	1,201,318	365,001	1,349,620
	計	47,348,262	42,767,260	44,328,542	46,284,909	49,881,460	50,866,189
当該施設の利用者一人当たり税金投入コスト		2,113	2,246	2,062	2,364	1,501	1,143

6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況

実地調査の実施 有 ・ 無

ア 管理業務実績報告書、事業報告書・財務諸表を年次提出

イ 実地調査（随時）

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	仕様書に基づき、縄文文化交流センターの適切な管理運営に努めた。	「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録も2年目を迎え、コロナ禍においても、垣ノ島遺跡や大船遺跡と合わせ拠点施設である縄文センターの来館者も増加してきている。今後はさらに国内外からの観光客が増えていくと考えられることから、貴重な文化遺産である両遺跡と連携を図り、来訪者が縄文文化の価値を理解・体感でき、再度訪れてみたいと思えるような施設を目指して事業内容等の充実を図っていきたい。
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	来館者の要望等を常に従業員が共有し、入館案内・解説・講座等を工夫し、各種業務のサービス向上に努めた。	閉館後に行うスタッフミーティングで、お客様からの質問や要望等について全員で情報共有に努め、今後のサービスの質の向上に努めた。 また、コロナ禍で縄文センターの利用が制限されるなか、ホームページなどで体験学習や体験講座等の開催告知や様々なイベントなどの告知にも努めた。今後は新型コロナウイルスに関する対応が緩和され、利用者の増加が考えられることから、イベントの開催にあたり関係機関とも連携を図りながら周知に努めるほか、利用者のニーズにあったサービスの提供を行っていきたい。
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	特に問題なし。	利用者の声に常に耳を傾けてサービスの向上につなげていきたい。また、縄文文化の価値を広く情報発信できる施設として、特に次世代を担う子供たちや若い世代の方々に親しみを持ってもらえるよう、オリジナルキャラクターの「どごう館長」の活用や、直に縄文に触れてもらえるよう体験学習や体験講座などの再開などを視野に入れたより親しみを感じさせるサービスの提供に努めたい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行 状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	管理業務処理要領に基づき適切な管理運営および事業が行われているが、事務処理全般に課題がある。	「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されて1年が経過し、コロナ禍ではあったものの一定の来訪者も増えたほか、新型コロナウイルス感染症の5類移行によりさらなる来訪者の増加が想定されることから、課題の整理を行い、必要な対応を進めること。
サービスの 質の状況	<input type="checkbox"/> A <input checked="" type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D		新型コロナウイルス感染症の5類移行により来館者の増が想定されることから、より一層のサービスの質の向上を図るため、定期的に展示解説や接客に関する研修を実施し、スタッフ間の情報と対応方法の共有等に取り組むよう努めること。
団体の経営 状況	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	団体の経営状況に問題はない。	引き続き安定した団体運営に努めること。

◎ 「業務の履行状況」「サービスの質の状況」

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。
- C 協定書を遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。

◎ 「団体の経営状況」

- A 事業収支、経営状況に問題はない。
- B 事業収支、経営状況の今後に注意を要する。
- C 事業収支、経営状況に早急な改善を要する。